資　料　4－1
練馬区基本構想審議会
平成 20 年 6 月 20 日

分野別課題・将来像の検討資料③

Ⅴ　確かなまちの未来を拓くために

５１　区民本位の効率的で質の高い行政を行う

51. 区民本位の効率的な質の高い行政を行う

＜政策シート＞

☆この政策でめざす状態

行政資源を有効に活用するとともに、区民の積極的な参加・参画により、区民と行政が協働で公共経営を行っている状態

＜この政策で展開している施策＞

- 51　区民本位の効率的で質の高い行政を行う
  - 511　参加と連携による開かれた行政を進める
  - 512　持続可能な行政運営を行う

■課題

・地域や行政に対する関心や要望が更に高まり、区民・事業者等から公共分野への参画の拡大が求められる。また、参画の前提となる区政運営の透明性の向上が、より一層求められる。

・厳しい財政状況の中で、一層の行財政改革を推進しながら、より効率的で生産性の高い組織体制による、多様化・高度化した区民要望への適切な対応が求められる。

・ICT（情報通信技術）の進展等に伴い、区民サービスの電子化、双方向性を活用したサービスの拡充が求められる。

・国は、地方分権改革や道州制の検討を進めている。また、都区間では、都区の事務配分や税財政制度、区域のあり方などの検討をしており、今後区政をめぐる状況が大きく変わることが考えられる。

○課題に対応する取り組みの方向性

・ホームページを充実するなど区政情報の公開を一層推進し、より透明で開かれた区政経営を実現することで、区民の参加・参画、協働を促進する仕組みづくりに取り組む。

・より多くの区民の意見・要望を収集するため、広聴事業の充実を図る。

・区の資産・負債やコストに関する情報を網羅的・体系的に明らかにし、説明責任を一層適切に果たすとともに、経営の視点を強化して区政経営に当たるため、公会計制度の改革に取り組む。

・民間でできることは民間に委ねることにより、区民サービスの向上と経費の節減を図る。また、行政組織のスリム化・職員数の適正化を計画的に実施するとともに、限られた人材で最大限の効果を挙げるよう職員の育成や組織体制の整備に取り組む。

・厳しい財政状況の中で、効率的な区政経営を行うため、区立施設の計画的な改修・改築や施設の適正配置・再編に取り組む。

・情報通信技術の革新を踏まえ、既存の情報システムの見直しや新システムの導入を計画的に推進し、個人情報の保護や情報セキュリティの確保に万全を期しながら、事務の効率化と区民サービスの充実を図る。

＜この政策にかかわる個別計画＞

・練馬区行政改革推進プラン（平成19年10月策定）

・第二次区立施設委託化・民営化実施計画（平成19年10月策定）

・区立施設改修改築計画（平成18年1月策定）

・練馬区情報化基本計画（平成19年4月策定）

＜区民の意識・意向（施策の満足度・必要度）＞

※平成19年度区民意識意向調査より

	満足度（%）		必要度（%）	
	満足評価	不満評価	必要性の高い評価	必要性の低い評価
開かれた行政運営	34.1	56.6	77.8	14.9
行財政改革の取組	33.9	55.6	77.8	13.7

注:各評価の割合は無回答を含む割合のため、その合計値は必ずしも100%とならない

＜区民懇談会の提案内容＞

※頁番号は「練馬区の将来像を考える区民懇談会　報告書」の掲載頁

☆めざすべき将来像	区民生活	(2)誰もが生き生き暮らせる元気なまち（5頁） ＊健全で安定した行政
■現状における課題	区民生活	「活力」（2頁） ＊今後の都市像とそれに適したまちづくりのあり方を検討することが必要です。 ＊今後の財政基盤、都市経営のあり方を検討することが必要です。
○取り組みの方向性	区民生活	(2)f)健全で安定した行政運営を進めます（財政基盤・住民参加）（12頁）